

山間の温泉旅館

大きさでは世界で 50 番目の面積を持つ四国。海岸線に築かれた町以外の内陸部は、そのほとんどが山また山である。愛媛県の石鎚山（1982m）、徳島県の剣山（1955m）、そして高知県の瓶ヶ森（1896m）、三嶺、笹ヶ峰等、2000m近くの山々が連なっている。こうした地形が長い歴史の中で各県、地域の交流を困難にしてきた。

神戸から淡路島を通り高速道路一本で高知市を目指した。快適なドライブであった。途中愛媛県四国中央市の川之江 JCT から高知 IC（2008 年開通）までの区間は、延々とトンネルの中を只ひたすら走り続けた。景色も何もない見えないトンネルから、パッと開けた青空が眩しい太陽を見たとき、あゝ高知に着いたのだと実感した。日本の歴史上この偉大なる難工事に携わった関係者のご苦勞に感謝しつつ。

高知県須崎市にある桑田山（そうだやま）。自然の緑豊かな山懐に抱かれた中に温泉宿はあった。風の音しか聞こえない。時折小鳥の泣き声もする。静かだ。大きく深呼吸をしたくなる。ここ桑田山温泉は 2013（平成 25）年に新装リニューアルしたばかりの快適な温泉宿であった。早速温泉に浸かった。森林浴の中での露天風呂。とろりとした美湯に心身ともに癒される。今までに入った温泉の中でもとびっきりいい湯。元々もち肌の私であるが体がツルツルしていつまでも気持ちがいい。翌朝も露天風呂に。「♪～いい湯だな！アハッハ～♪」

撮影 2014 年春

